

2012年11月30日



新型スバル フォレスターが欧州の安全性能総合評価で最高評価の5つ星を獲得

このたび、スバル フォレスターの欧州仕様車(2.0i-L 左ハンドルモデル)は、欧州の新車評価基準である「ユーロ NCAP*1」における、2012年安全性能総合評価で最高評価の5つ星を獲得しました。2009年より新評価システムが採用されたユーロ NCAP では、「乗員(大人)保護性能」、「乗員(幼児)保護性能」、「歩行者保護性能」、「安全補助」の4つの項目について、より厳格に総合的な安全評価が行なわれています。スバルはこれまで数々の衝突安全性能評価において高い評価を受けており、ユーロ NCAP での最高評価の獲得は2009年のレガシィ、2011年のスバル XV に続き、3回目になります。

なお、新型フォレスターが主要国における安全性能総合評価で最高評価を獲得したのは、今回が初めてになります。

*1 欧州各国の交通関連当局などで構成された独立機関が1997年より実施している安全性能評価

新型フォレスターは、超高張力鋼板の効果的な採用や、衝突エネルギーの伝達構造の最適化によりスバル独自の環状力骨構造ボディをさらに進化させ、軽量化と全方位の高い衝突安全性の両立を実現し、乗員保護性能を高めました。また、フロントデュアル、サイド、ニーおよびカーテンといったエアバッグの充実、VDC(ビークルダイナミクスコントロール:横滑り防止装置)を全車に標準装備とすることで、総合的に優れた安全性能を実現しました。また、フォレスターでは、前、側、後突の基本性能の高さに加え、幼児乗員保護や歩行者保護の性能が高く評価されました。

富士重工業は、ブランドステートメントである“Confidence in Motion”を通じて、スバルならではの「安心と楽しさ」の提案を掲げています。この「安心と楽しさ」を支える重要な要素である「安全」を、ALL-AROUND SAFETYの考え方を基に、アクティブセーフティ、パッシブセーフティ、プリクラッシュセーフティの各技術進化により実現していきます。

アクティブセーフティ : 走行性能・危機回避性能による安全性向上

パッシブセーフティ : 衝突安全性能による安全性向上

プリクラッシュセーフティ : 先進運転支援システムの警報や自動ブレーキなどによる安全性向上



ENCAPロゴ



フォレスター衝突試験時